



「5カ年経営計画」について

(平成22年11月期～平成26年11月期)

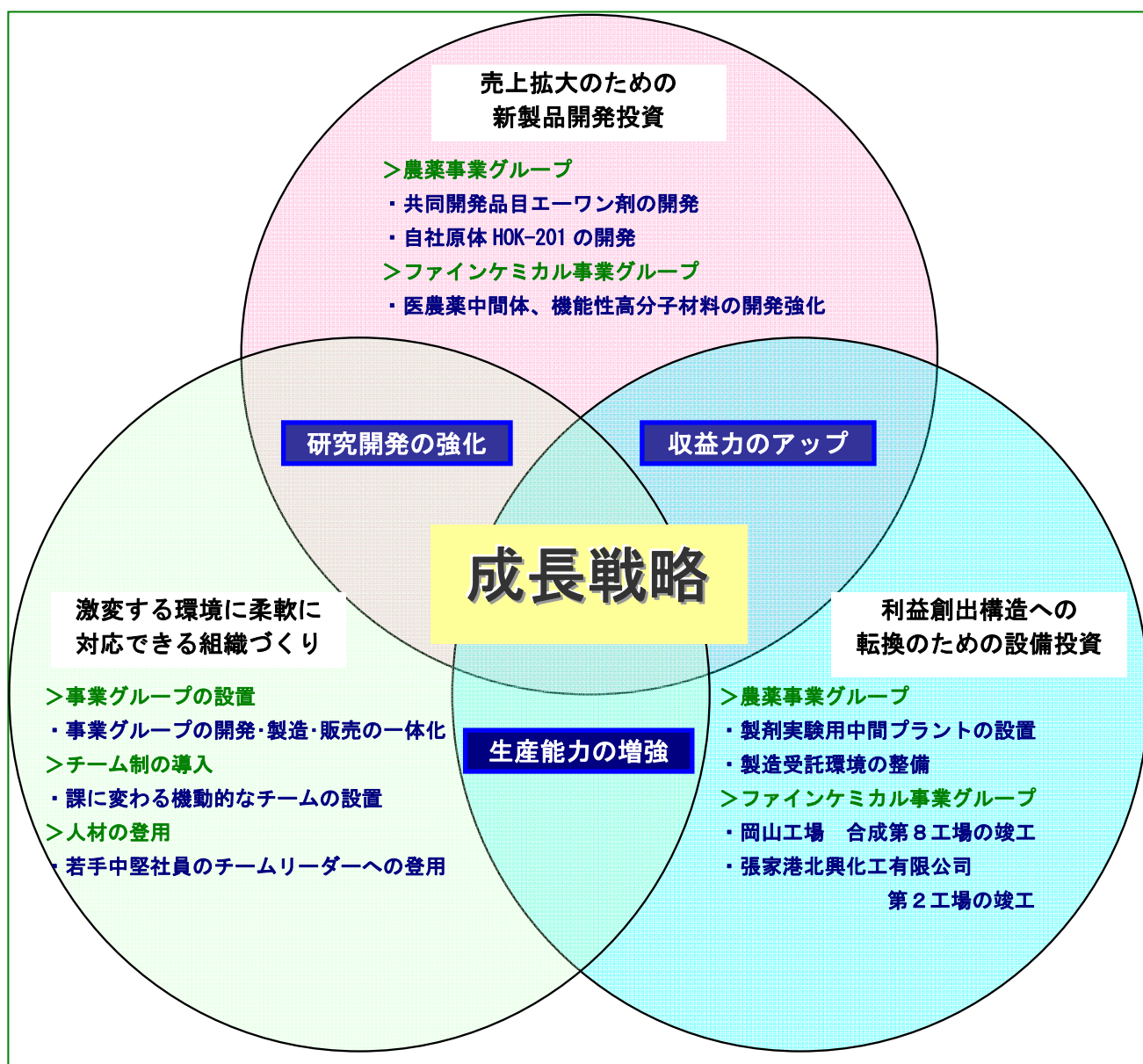
I はじめに

平成21年1月16日に公表いたしました「3カ年経営計画（平成21年11月期から平成23年11月期）」は、初年度において、「百年に一度」と言われた世界経済の急激な景気後退並びに農薬価格の値上げに伴う駆け込み需要の反動および農薬新剤投入の遅延などにより大幅な未達となりました。

今般、着実に進展している収益改善に向けたこれまでの施策による効果を踏まえ、また、当社の売上高予想について見直しを行い、当社の中長期の展望を明らかにするため、新たに平成22年度から始まる「5カ年経営計画」を策定いたしました。

II 成長戦略の構造

当社はここ数年、激変する環境に柔軟に対応するための組織改革、利益創出構造への転換のための設備投資、売上高拡大のための新製品等の開発を積極的に行ってまいりましたが、これらの取り組みの相乗効果が今後5年間の業績に顕著に現れてまいります。



Ⅲ 経営目標（当社単体を対象としております。）

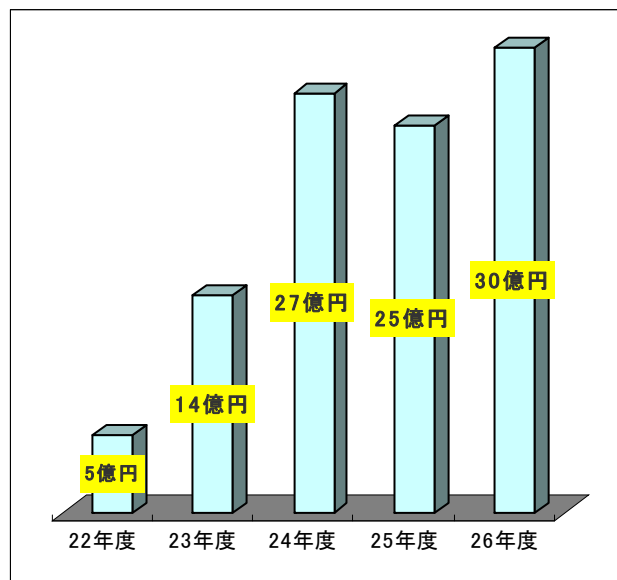
これまで進めてまいりました施策により「成長戦略」の基盤が整備されたことから、本計画期間中の平成 24 年度に「過去最高の経常利益水準」を更新し、最終年度である平成 26 年度に売上高 490 億円台、経常利益 30 億円台に乗せることを目標としております。

【経営目標】

（単位；億円）

	①22年度 （初年度）	②26年度 （最終年度）	増減額 （②-①）
売上高	462	495	+33
売上総利益	94	125	+31
営業利益	7	29	+22
経常利益	5	30	+25

【経常利益計画の年度別推移】



Ⅳ 各事業部門における重要課題

1、農薬事業部門

- ① 今後の有力商品となる新剤 6 剤の拡販
（園芸用殺虫剤）プレバソフロアブル 5、サムコフロアブル 10
（園芸用殺菌剤）アフェットフロアブル
（非選択性茎葉処理除草剤）ザクサ液剤
（水稲一発処理除草剤）エーワン 1 キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ、
イプフェンカルバゾン (HOK-201) 混合剤
- ② HOK-201 に続く新規原体の創製
- ③ 海外市場における自社原体（カスカマイシ、イプフェンカルバゾン）の普及拡販
- ④ 品目・規格整理による生産効率の改善

2、農薬以外のファインケミカル事業部門

- ① 新製品・新技術の開発強化
- ② 新工場（岡山工場合成第 8 工場、張家港北興化工第 2 工場）稼動に伴う生産能力増強と高付加価値製品の生産による利益率の改善
- ③ 張家港北興化工有限公司をベースとした中国市場の開拓

3、共通課題

- ① 間接事務の集中化など業務効率化による間接経費の削減
- ② 在庫の削減等によるキャッシュフローの改善
- ③ 工場間の機動的な人員配置と人材育成、教育研修の強化
- ④ 国際会計基準への対応と次期基幹コンピュータシステムの導入

以上